

平成25年度 第2回男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会 (要点録)

- 1 開催日時 平成26年1月31日(金)午前10時00分～11時45分
- 2 開催場所 市役所東別館 1階 多目的ホール1
- 3 出席者 委員10人(4人欠席)、事務局3人
- 4 議事等

事務局

定刻になりましたので、はじめさせていただきます。

本日は大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

ただ今から、平成25年度第2回 長浜市男女共同参画を進めるパートナーシップ委員会を開催いたします。

なお、本委員会につきましては、「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」により会議の公開が原則となっております。本日の会議につきましても公開させていただくこととなりますので、こちらに傍聴者席を設けております。

また、会議内容につきましては録音させていただきますのでご了承願います。

本日、木元委員、塚田委員、宮腰委員、秋山委員がご欠席です。

出席委員 10 人ですので、過半数を満たし、会議は成立する事を報告します。それでは、開会にあたりまして、人権施策推進課の小川課長からご挨拶させていただきます。

課長

みなさん、本日はお忙しい中ありがとうございます。本年度 2 回目ということでよろしく願いいたします。

昨日あたりから、小保方さんと言う方が、ノーベル賞級の新しい細胞を発見されたということで、新聞にも載っています。発見はその若い女性の方ですが、それをフォローする形で、男性の教授陣がカバーして、世界に認められた、正に男女共同参画といったことで、すばらしいなと思っております。この新しい細胞の生成には刺激を与えるということですので、この委員会も刺激をいただきまして、男女共同参画がさらに進むように取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

簡単ではございますが、開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

次に、今日お配りしている資料の確認をさせていただきます。

(資料の確認)

では、議事に入りたいと思います。ここからは京楽委員長にお願いいたします。

委員長

みなさんおはようございます。私も小保方さんについてお話ししたいと思います。その報道について疑問があります。『30歳の若い研究者ががんばって成果を上げた。すばらしいです。』で終わらずに、『しかし、女らしい所もあるんです。』といったような、その研究者が男性だったら聞かないようなことをマスコミが平気で聞いて流していることに、引っかかりを感じましたし、男女共同参画もまだまだだと実感した一コマでした。しかし、このパートナーシップ委員会では、しっかり前に進んでいきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、議事に入っていききたいと思います。次第2の「平成25年度男女共同参画事業について」と、次第3の「平成26年度に向けての課題と取組について」、事務局からご説明をお願いします。その後、皆さまからまとめてご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

事務局

(資料1、資料2、資料3、資料4、資料5について説明)

委員長

今の事務局の説明につきまして、ご質問、ご意見等があればお願ひいたします。

委員

この朗読劇の台本は誰が作っているのですか。

事務局

そのグループの方です。

委員長

方言がでてきたり、身近な場所がでてくると親しみがわいて良いですね。

台本のテーマのリクエストができると良いのではないのでしょうか。

委員

先ほどのクイズはどうしたのですか。

事務局

こちらで作りました。

委員

なかなか内容のあるもので良いと思います。

委員

今のは大人向けですよ。子供向けのクイズ版もあるのですか。小さい頃からの男女共同参画の意識が必要ですから、子ども会などでやると良いと思います。

委員

子供向けはいいと思います。今は、学校でも学級委員も女子が多いですし、男女関係なくなってきましたよね。

委員長

特にかがやきネットのところでご意見はないでしょうか。研修会に参加者が少ないということですが。

委員

人材バンクには自分から積極的に登録されたのですか。

事務局

当初は、自分から登録したいと言う方もありましたが、最近はそのイベントに参加された方を勧誘して登録者の増加を図ってきました。

委員

それで積極性がないのですね。

委員

実際このような案内をいただくと参加したいと思う反面、仕事をしているので休みをもらわなといけなくなると、他の用事を優先させてしまい、研修会に参加できないのが現状です。

委員

平日は仕事があるので難しく、土曜日は夫が家にいるので難しいと言う人がいます。

委員

本当は、土曜日に夫に子どもを見てもらって、研修会に参加できるようになると良いのですが。

委員

旅費を市が負担したり、公用バスを出しても参加者が少ないということですので、研修会の会場を長浜にしてはどうですか。

事務局

来年度そのような方向で考えてみます。

委員

以前は子育て中でもそういった研修会に参加する人が多かったですね。趣味の会や学校関係のグループでは参加者もあるでしょうが、地域のために何かしようとするグループがなくなってきているのでしょうか。

委員

以前は見て聞いて情報を得るのが普通でしたが、今はインターネットがありますのでそうなくなってしまったのではないのでしょうか。

委員

このように朗読劇のグループさんのように自主的に活動しておられるところもありますので、もう少し若い世代、せめて50代くらいの人たちがやっただけだと、つながっていくのにと思います。

委員

審議会という名称が堅くしいるのでしょうか。

委員

発信すれば発信するほど現場に行ってみたい気持ちになるので、情報を発信し続けることが大切です。

委員長

そうですね。待機児童数の目標値が0人になったことなど、正に前回のパートナーシップ委員会の議論が反映された結果だと思います。このように、市民としての意見が市政に反映するんだということが分かれば、人材バンクからも審議会へ入っていただけるのではないのでしょうか。

委員

新江州さんの女性活性化の取組とは具体的にどういったことなのですか。

委員

人事の前田さんという女性の方がやっておられて、社長がバックアップしているもので、制度、例えば育児短時間勤務制度の拡充などを取りやすい職場風土を作っていく、ということです。

委員

こういう紹介をしていただくと良いですね。今自治会長をやっていますが、何かにつけ、意識的に女性に入っていただくようにしています。

委員

自治会長を女性には言いませんが、せめて自治会の役員の中に女性部を作ってほしいです。

委員

何年か前に夫の母が自治会長をやっていたのですが、協力というより反対に苦情を言われたりして大変で、何もかも一人でやっていかななくてはならなかったので、自治会役員の中に女性が何人かいてくださるとやりやすかったのではないかと思います。

委員長

横のつながりというものができれば、会長が男性でも女性でも関係ないと思います。かがやきネットにもつながっていくことだと思います。行政がどうサポートするかですね。

時間も迫っております。特にご質問等いかがですか。

なければ、事務局にお返します。

事務局

長時間にわたりありがとうございました。

今日いただきました、貴重なご意見等は参考にさせていただき、来年度の事業につなげていきたいと思えます。

事務局

それではこれで本日の会議を閉じさせていただきます。

お帰りになられましてもお気づきの点等ございましたら人権施策推進課までお願いします。

(閉会)